

僕はそれ以上言へなかつた。

旋風のやうな速さで、過去の事が回想された。

死は大地に溶け入る事だ。

大宇宙の何ものも滅却されて無くなる。

凡ての人が此の寂寞と痛恨に一度は泣かなければならないのだ。

ホクロの女よ、弟よ。

野田はスゴくと、暗い原の向ふの浅野の下宿を起しに行つた。

間渴的に僕の體は引き絞られたり、燃えたりして、何ものかにとりすがりたい切ない思ひはつ  
いた。

僕は一心に祈つた。今死ぬる事はあまりにつらいはかない。

野田が浅野を連れてくるまでに、鳩尾から恐怖は去らなかつた。

『何かに昂奮し過ぎたんだよ。』

大丈夫だよ』